Genie®
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

IWP® Super Series

IWPP-13000 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Sixth Edition
First Printing
Part No. 1298036JAGT

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 5
一般的な安全 7
作業員の安全 11
作業場の安全 12
説明 18
操作パネル 18
点検 20
操作手順 32
メンテナンス 35
バッテリー充電の手順 37
輸送および持ち上げの手順 39
仕様 41

Copyright © 1996 Terex Corporation

第 6 版:初刷、2020 年 3 月

「Genie」および「IWP」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota の登録商標です。

「Super Series」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

この機械は以下の規格と準拠しています。
ANSI/SAIA A92.20
CAN/CSA B354.6

はじめに

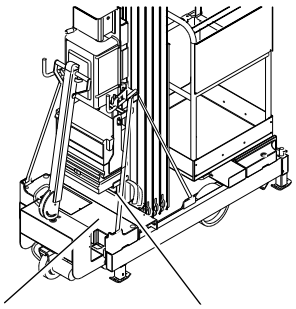
この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。



シリアル番号はシャーシに記載 . シリアルプレート

用途および訓練ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

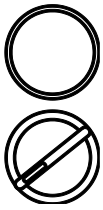
- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

作業台操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。



作業台上昇

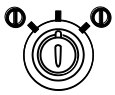


作業台下降

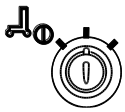
地上操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。



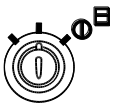
キースイッチ - オフ



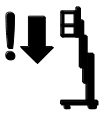
キースイッチ - オン



地上操作パネル



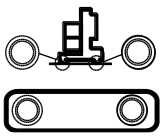
作業台操作パネル



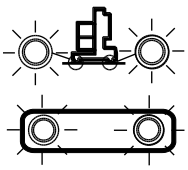
緊急作業台下降



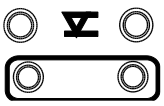
低バッテリー表示器



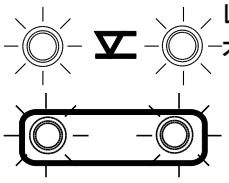
フットパッド インターロック - オフ



フットパッド インターロック - オン



レベルセンサー インターロック - オフ



レベルセンサー インターロック - オン

インターロック機能は以下のとおりです。

- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ー 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ー ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

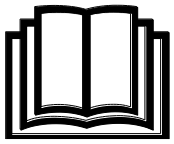
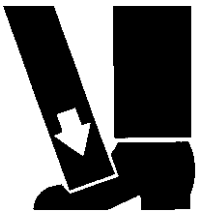
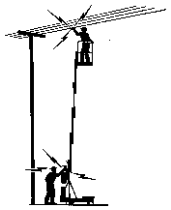
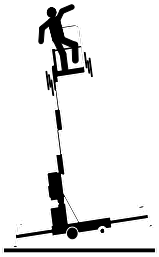
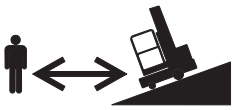
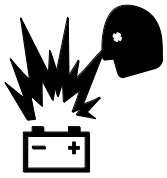
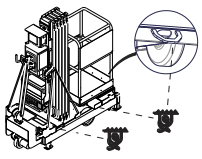
⚠ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

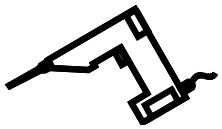
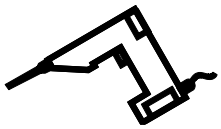
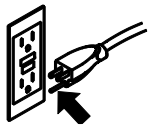
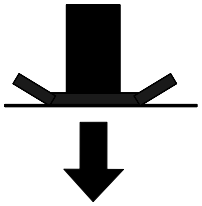
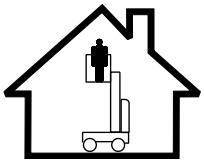
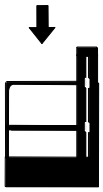
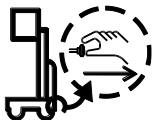
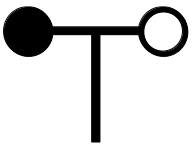
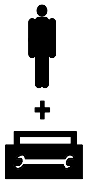
⚠ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

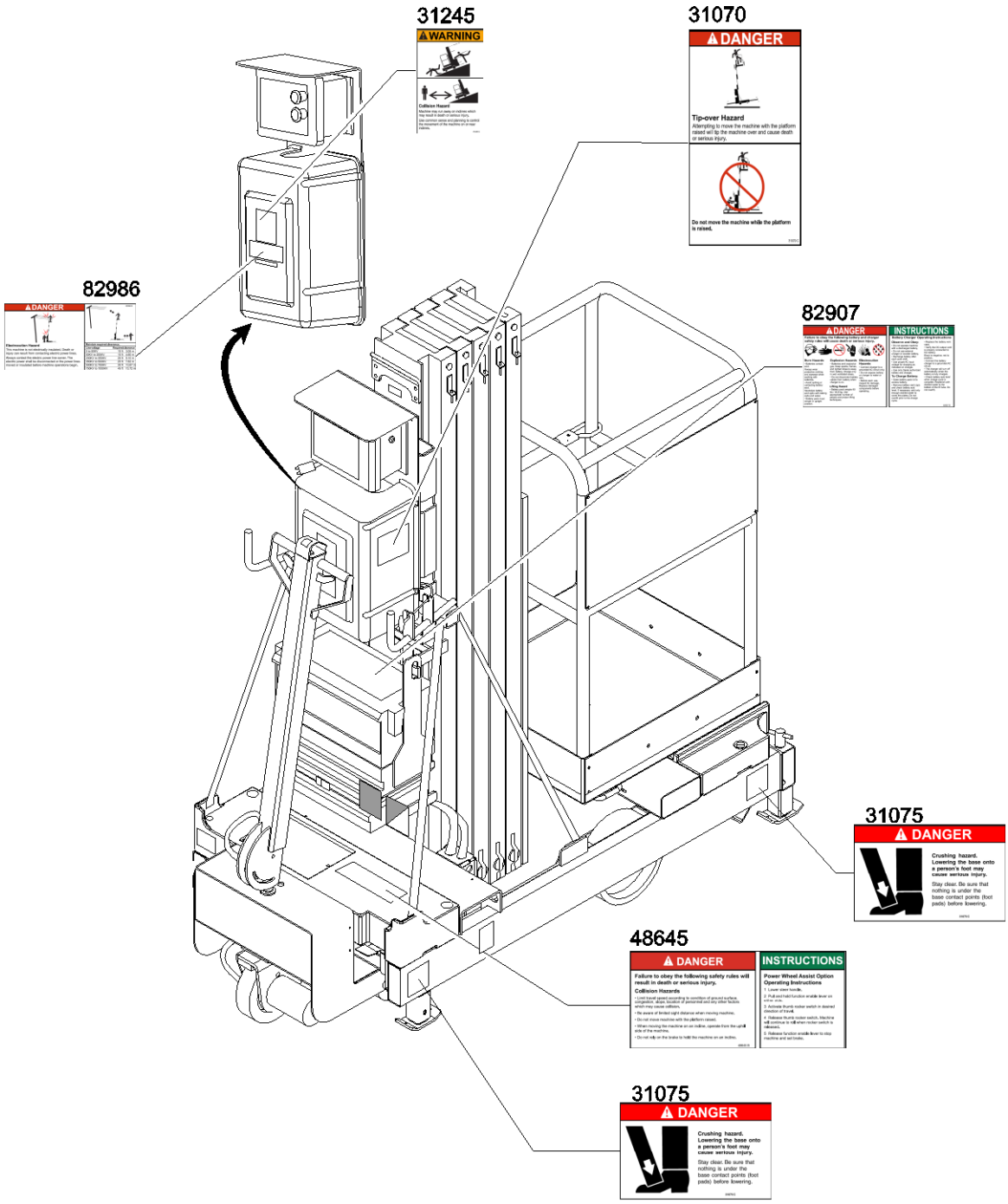
シンボルと危険を表すイラストの定義

				
操作説明書を読んでください	サービスマニュアルを読んでください	挟まる危険	禁煙。	衝突の危険
				
挟まる危険	転倒の危険	転倒の危険	感電の危険	転倒の危険
				
必要な間隔を維持してください	転倒の危険	傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。	衝突の危険	固定用具
				
やけどの危険	爆発の危険	火災の危険	感電の危険	輸送図

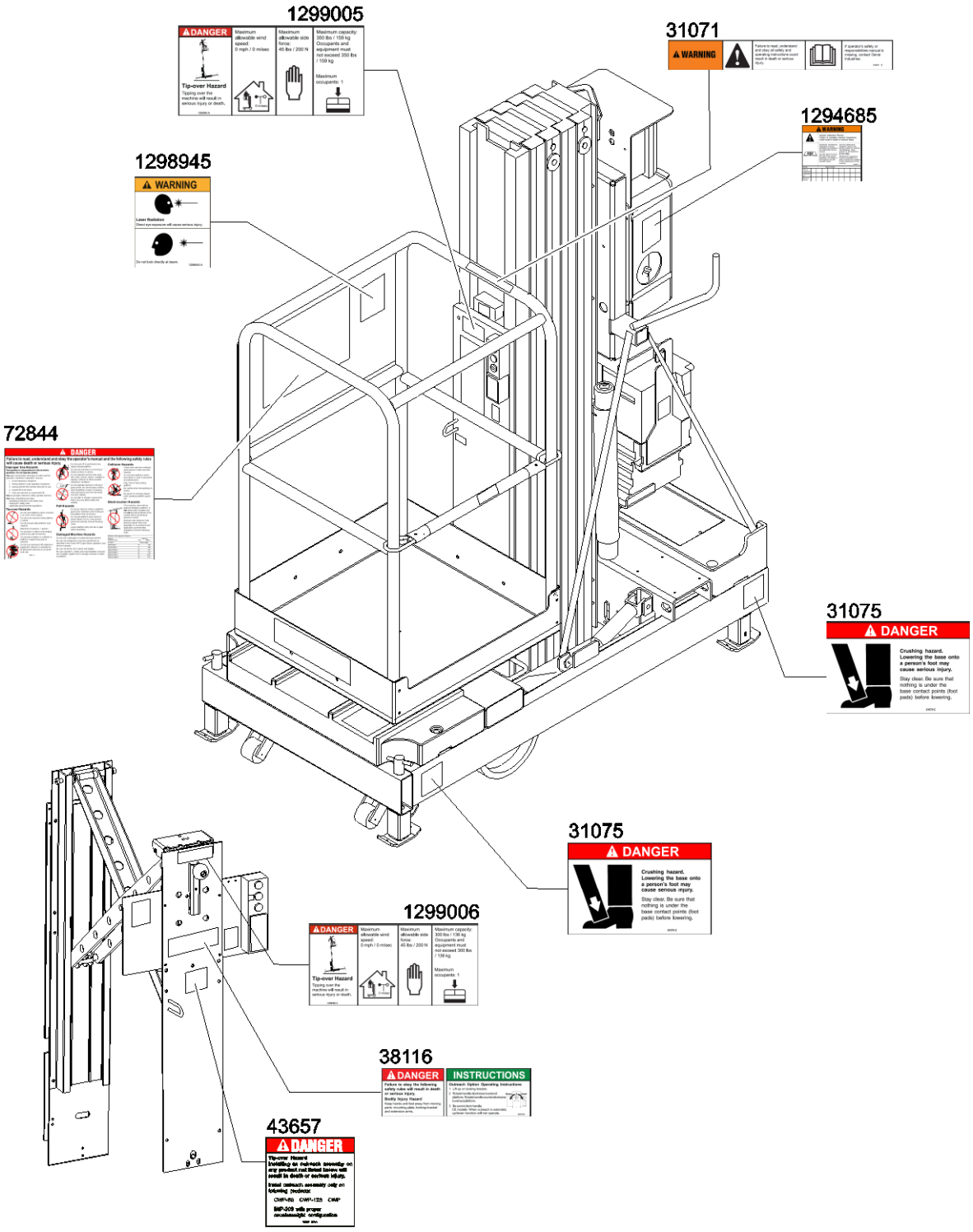
シンボルと危険を表すイラストの定義

 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力	 吊り上げ点	 ブレーキを解除してください	 接地されている AC 3 ピンのみ
 損傷した電線およびコードを交換してください	 車輪荷重	 安全帯固定場所	 側方圧	 外圧
 フットパッド負荷	 屋内	 最大積載荷重量	 緊急下降	 風速
  作業員、工具、機材、オプションを含む最大積載荷重量				

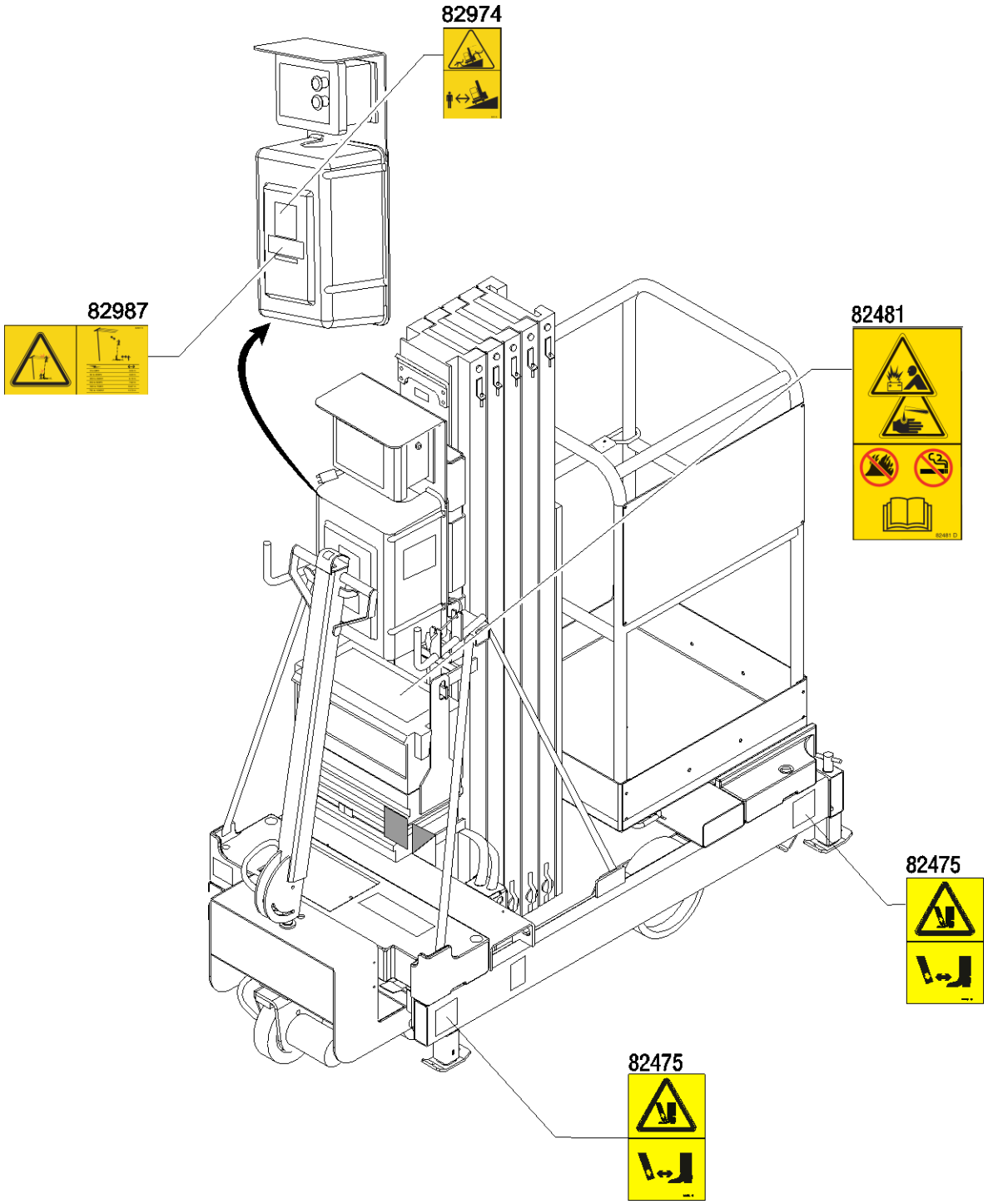
一般的な安全


31245
WARNING
31070
DANGER
Tip-over Hazard
Do not move the machine while the platform is raised.
82986
DANGER
82907
DANGER
INSTRUCTIONS
31075
DANGER
Crushing hazard. Lowering the base onto a person's foot may cause serious injury.
48645
DANGER
INSTRUCTIONS
31075
DANGER
Crushing hazard. Lowering the base onto a person's foot may cause serious injury.

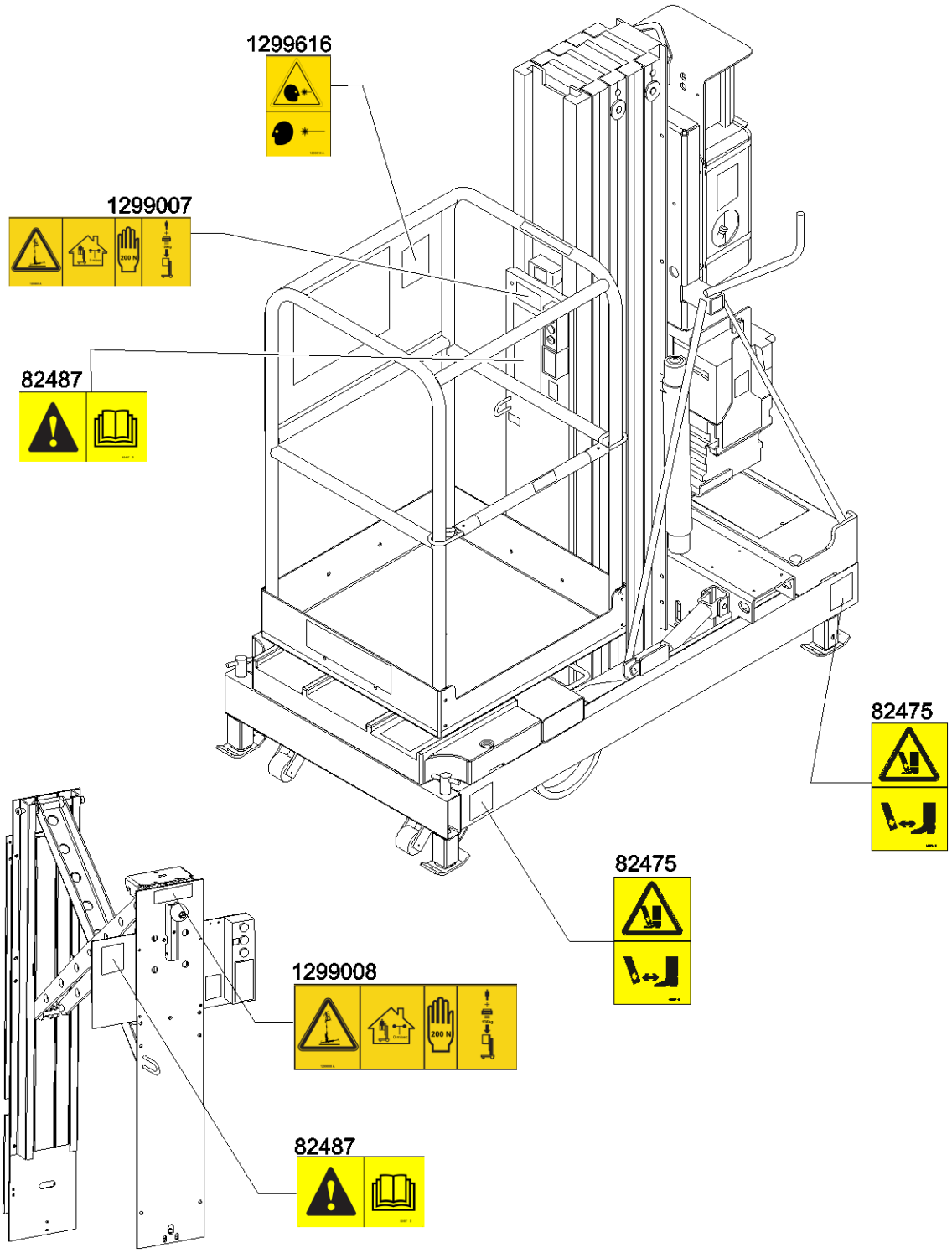
一般的な安全


1299005
31071
1294685
1298945
72844
31075
31075
1299006
38116
43657

一般的な安全



一般的な安全



作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

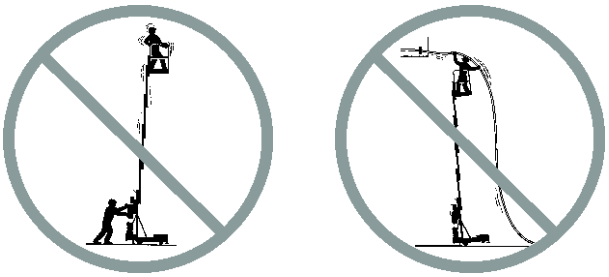
PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 転倒の危険

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

作業台が上昇している状態で機械を移動しないでください。

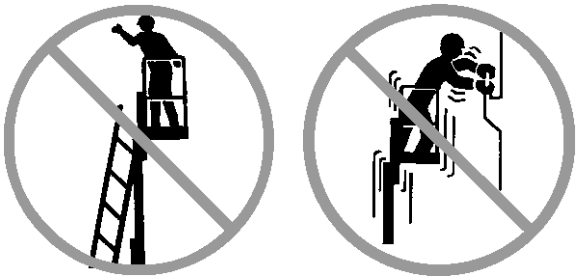


機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外圧力	45 lbs/200 N

急に低くなっているところ、くぼみ、でこぼこした道、障害物がある場所、不安定な地面、滑りやすい表面、あるいは他の危険な状態の近辺では機械を操作しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

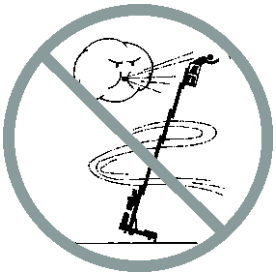
Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

フォークリフトや他の輸送車両を使って機械を移動するときは、作業台を完全に下げ、機械の電源を切り、作業員が作業台を降りてから行ってください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

製造元からの書面での通知なしに高所作業台を改造したり変更したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、または手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

作業場の安全



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

ANSI、CSA、AUS および CE モデル		
最大積載荷重量	350 lbs	159 kg
最大作業員数		1 名
ANSI、AUS および CE モデル		
最大積載荷重量 アウトリーチオプション搭載の IWP-20S	300 lbs	136 kg
最大作業員数		1 名

IWP-25S や IWP-30S には、アウトリーチオプションを取り付けないでください。アウトリーチオプションは、IWP-20S 専用です。

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備（PFPE）を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適応される法規に従って実施してください。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上昇しているときに作業台から降りないでください。電源障害が起きた場合は、地上の作業員により手動下降バルブを作動してください。

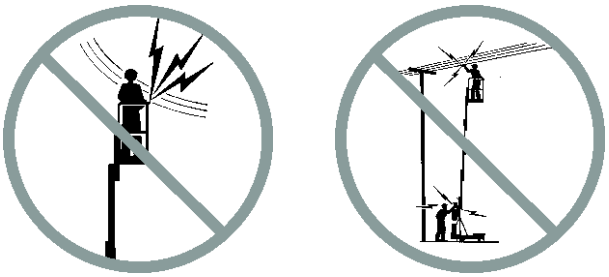
作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。オプションのファイバーグラス製の作業台も絶縁されていません。



機械が電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上または作業台の作業員は電線の電気が遮断されるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

電圧範囲	安全を確保するための最短距離	
0 ～ 300V	接触を避ける	
300V ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50KV ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200KV ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350KV ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500KV ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750KV ～ 1,000KV	45 ft	13.72 m

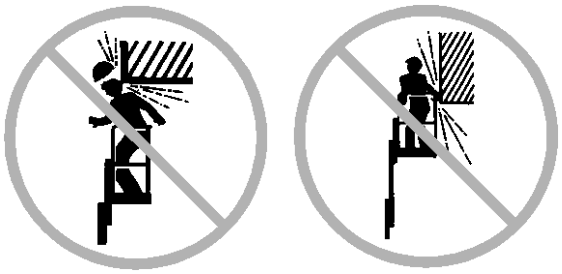
作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

AC 電源を使用する機械や DC バッテリー充電器を使用する場合は、接地した AC 回路に接続したアース付 3 ピン延長コードを必ず使用してください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

⚠ 衝突の危険

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

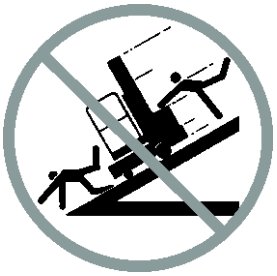


作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。

作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。

作業場の安全



傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

下降している作業台には近づかないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 誤った使用による危険

関係者以外による使用を避けるため、機械から離れる際はキーを取り外してください。

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

⚠ 手のケガの危険

手や腕をマストに近づけないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

⚠ 爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

作業場の安全

⚠ アウトリーチオプションの安全性

人体への傷害の危険

動いている部分に手や足を近付けないでください。固定プレート、ブラケットロック、延長アーム。

⚠ パワーホイール支援オプションの安全性

衝突の危険

路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

機械を移動する際は視界の限度に注意してください。

作業台が上がっている状態で機械を移動しないでください。

傾斜地で機械を移動する場合は、機械の上側から操作してください。

傾斜面に機械を固定する場合は、ブレーキに頼らないでください。

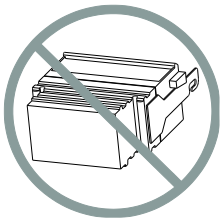
⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

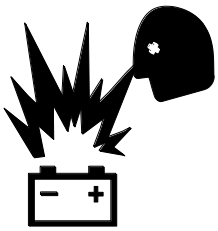


バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

作業場の安全

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

よく換気された場所でバッテリーを充電してください。



バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。



充電器がオンのときは、バッテリーから充電器 DC 出力配線を取り外さないでください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

持ち上げ時の危険

バッテリーの重量は 90 lbs/40.8 kg です。バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

使用後のロックアウト

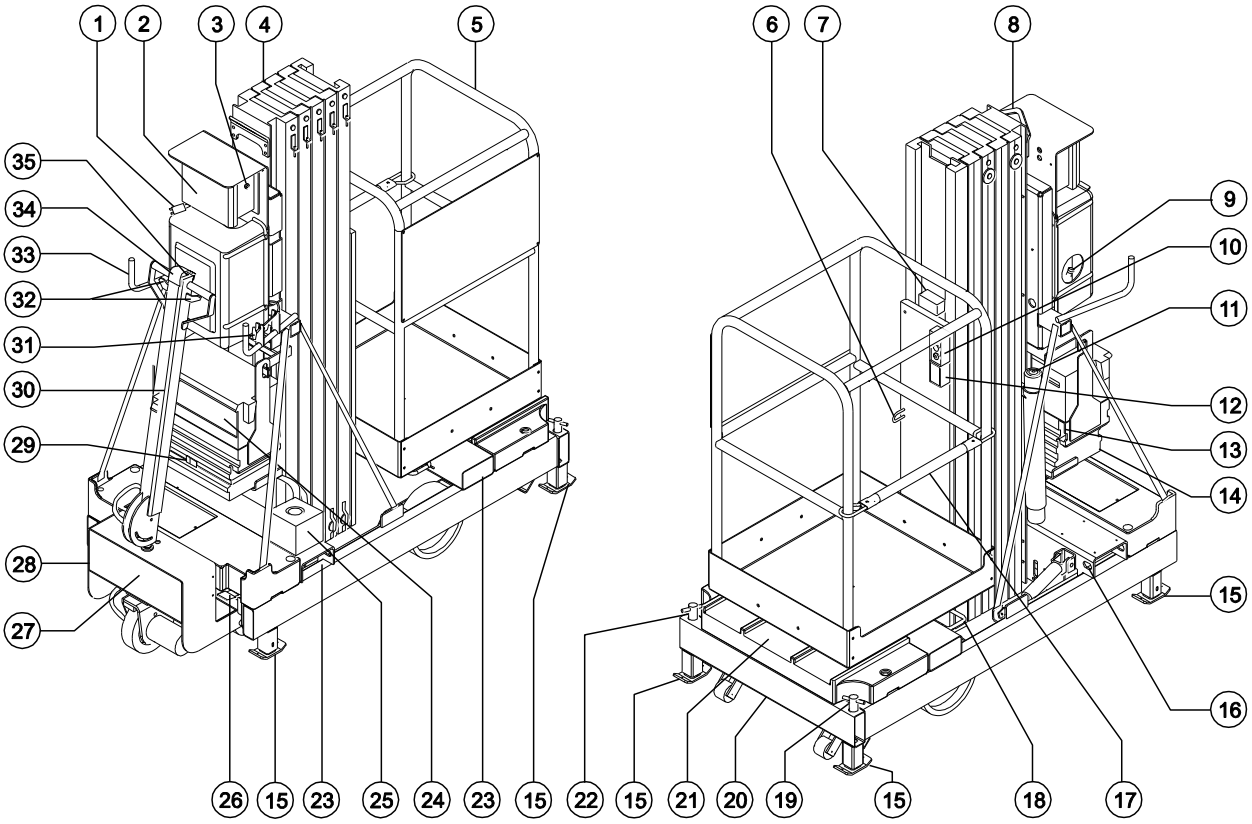
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

説明



1 AC モデル: 機械への電源
DC モデル: 作業台への電力
2 地上操作パネル
3 回路ブレーカー
4 マスト
5 作業台
6 安全帯固定場所
7 操作説明書保管場所
8 リフト用金具
9 ブリーザーキャップ
10 作業台操作パネル
11 水準器付きレベルセンサー*
12 AC コンセント
13 DC モデル: バッテリーの素早い取り外し
14 DC モデル: バッテリーパック
15 フットパッド
16 輸送用の荷締め
17 作業台出入口中間レールまたはゲート
18 フォークリフトリング
19 左側のジャッキ
20 ウィンチ個所
21 カウンターウェイト
22 右側のジャッキ
23 フォークリフトポケット
24 DC モデル: バッテリー充電器
25 水準器付きレベルセンサー*
26 フットペダル
27 パワーホイール支援オプション
28 手動下降バルブ (油圧シリンダーの底部に配置)
29 バッテリーストラップ
30 操舵ハンドル - パワーホイール支援オプション
31 ベース下降ハンドル
32 機能作動レバー - パワーホイール支援オプション
33 操舵ハンドル
34 逆進安全スイッチ - パワーホイール支援オプション
35 ロッカースイッチ - パワーホイール支援オプション

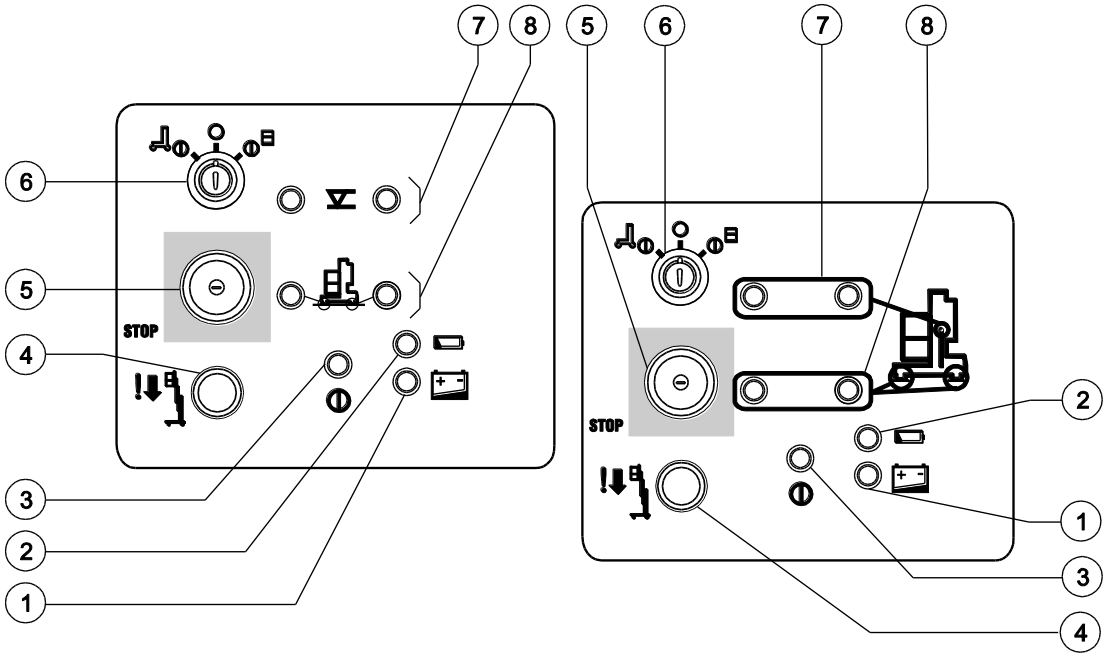
*2 つの異なるスタイルのレベルセンサーが製造されました。

操作パネル

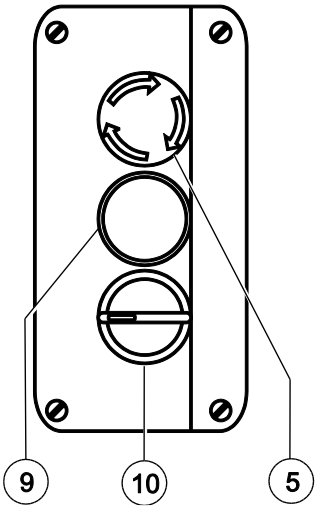
地上操作パネル

地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。

注記:2 つの異なるインターロック表示ステッカーが製造されました。それぞれの標識記号は違いますが、両方とも同様に作動します。この説明書では、これらの両方をイラスト表示します。



作業台操作パネル



1 DC モデル:低バッテリー表示ランプ
2 補助下降用低バッテリー表示ランプ
3 電源ランプ
4 作業台補助下降ボタン
5 赤色非常停止ボタン
6 キースイッチ
7 レベルセンサーインターロック表示ランプ
8 フットパッドインターロック表示ランプ
9 制御作動ボタン
10 上昇/下降スイッチ

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ DC モデル: バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、ホース、フィッティングおよびシリンダー
- ❑ 油圧マニフォールド、フットポンプ
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ シークエンス ケーブルと滑車
- ❑ リフトチェーンおよびアイドラーホイール
- ❑ マスト柱と釣合い重り
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブリーザーキャップ
- ❑ フットパッド
- ❑ 調節可能な摩耗板
- ❑ 安全帯固定場所
- ❑ キャスター

搭載している場合:パワーホイール支援オプション

- ❑ 操舵ハンドル
- ❑ 油圧モータとホース

搭載している場合:アウトリーチオプション搭載の IWP-20S

- ❑ ブラケットロック
- ❑ ハンドルとハンドルロック
- ❑ 延長アーム
- ❑ カウンターウェイト構成が適切であることを確認する(部品番号はカウンターウェイト上部に記載されています)

ANSI および CE 屋内	前方 P/N	後方 P/N
IWP-20S 標準ベース	37354	37355

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ バッテリー端子とバッテリーの配線すべてを点検し、清掃します。
- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

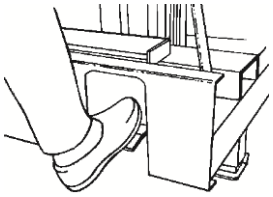
点検

機能テスト

設置

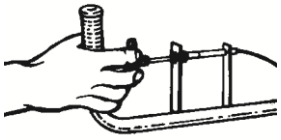
1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 フットペダルを繰り返し踏んで、ベースを上昇させます。



⊙ 結果:ホイールが地面に接触します。

3 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを完全に下降します。



⊙ 結果:4 つのフットパッドすべてがしっかりと地面に接触します。

4 適切な電源に接続します。

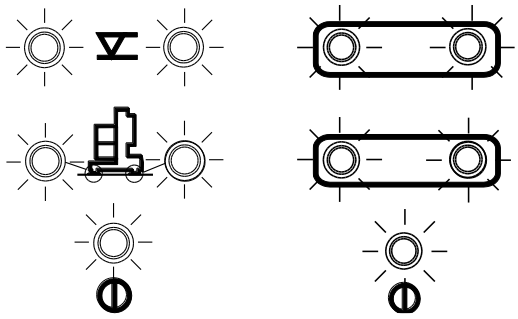
5 水準器を使って、機械の本体が水平になり、4 つのフットパッドすべてがしっかりと地面に接触するようにジャッキを調節します。

6 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。

7 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

8 作業台の赤色非常停止ボタンを引いて オン の位置にします。

⊙ 結果:電源ランプが点灯します。1 ～ 4 秒以内に、2 つのレベルセンサーインターロック表示ランプと 2 つのフットパッドインターロック表示ランプが点灯し続けます。

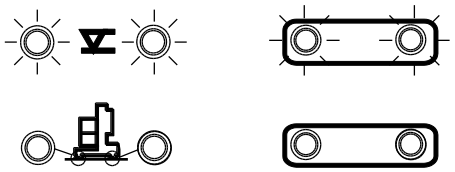


注記:2 つの異なるインターロック表示ステッカーが製造されました。それぞれの標識記号は違いますが、両方とも同様に作動します。この説明書では、これらの両方をイラスト表示します。

インターロックシステムのテスト

9 フットペダルを繰り返し踏んで、ベースを上昇させます。

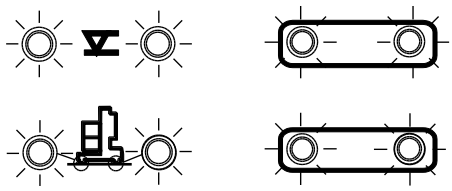
⊙ 結果:2 つのフットパッド表示ランプが消えます。



点検

10 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを完全に下降します。

⊙ 結果:2 つのフットパッド表示ランプが点灯します。

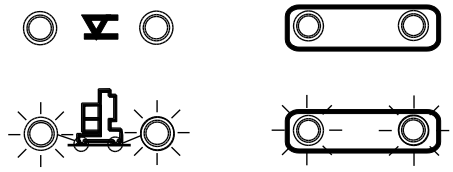


11 フットペダルを繰り返し踏んで、ベースを上昇させます。

12 両方のジャッキを時計回りに回して、完全に下降させます。

13 ベース下降ハンドルを引いて、ベースを完全に下降します。

⊙ 結果:ベースが下がり、ベースが水平でないため、2 つのレベルセンサー表示ランプが消えます。



14 作業台操作で、制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上の方向に回した後、下の方向に回します。

⊙ 結果:作業台の上昇/下降機能は作動しません。

非常停止のテスト

15 水準器を使って、機械のベースが水平になるようジャッキを調節します。地上操作で 4 つの表示ランプがすべて点灯していることを確認します。

16 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

17 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果:上昇/下降機能は作動しません。

18 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

19 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

20 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果:上昇/下降機能は作動しません。

点検

作業台補助下降のテスト

21 作業台を少し上昇させます。

⊙ 結果:内側フレームホイールは地面から少し上がります。

22 電源を機械から外します。

23 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

24 地上操作で作業台補助下降機能ボタンを押します。

⊙ 結果:作業台が下降します。

25 電源を機械に接続します。

26 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

27 作業台を少し上昇させます。

28 電源を機械から外します。

29 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを下方向に回します。

⊙ 結果:作業台が下降します。

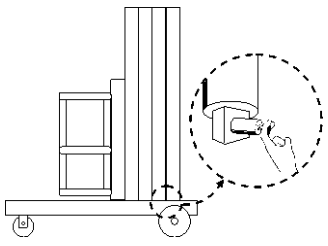
30 電源を機械に接続します。

手動下降のテスト

31 作業台操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。インターロックランプと電源ランプが点灯していることを確認します。

32 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上の方向に回して作業台を約 6 インチ/15 cm 上昇させます。

33 油圧シリンダーの底にある手動下降弁を作動させます。



⊙ 結果:作業台が下降します。

作業台の上昇と下降のテスト

34 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを上位置まで回します。

⊙ 結果:作業台はつっかえることなく、スムーズに上昇します。

35 制御作動ボタンを押して、上下スイッチを下位置まで回します。

⊙ 結果:作業台が下降します。

逆進安全スイッチ（パワーホイール支援オプション付きモデルのみ）

36 機能作動レバーを引いてどちらかの側に保持します。

37 サムロッカースイッチを押して、機械を後退させます。

38 操舵ハンドルの端にある逆進安全スイッチを押します。

⊙ 結果:機械は、前進します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

点検

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

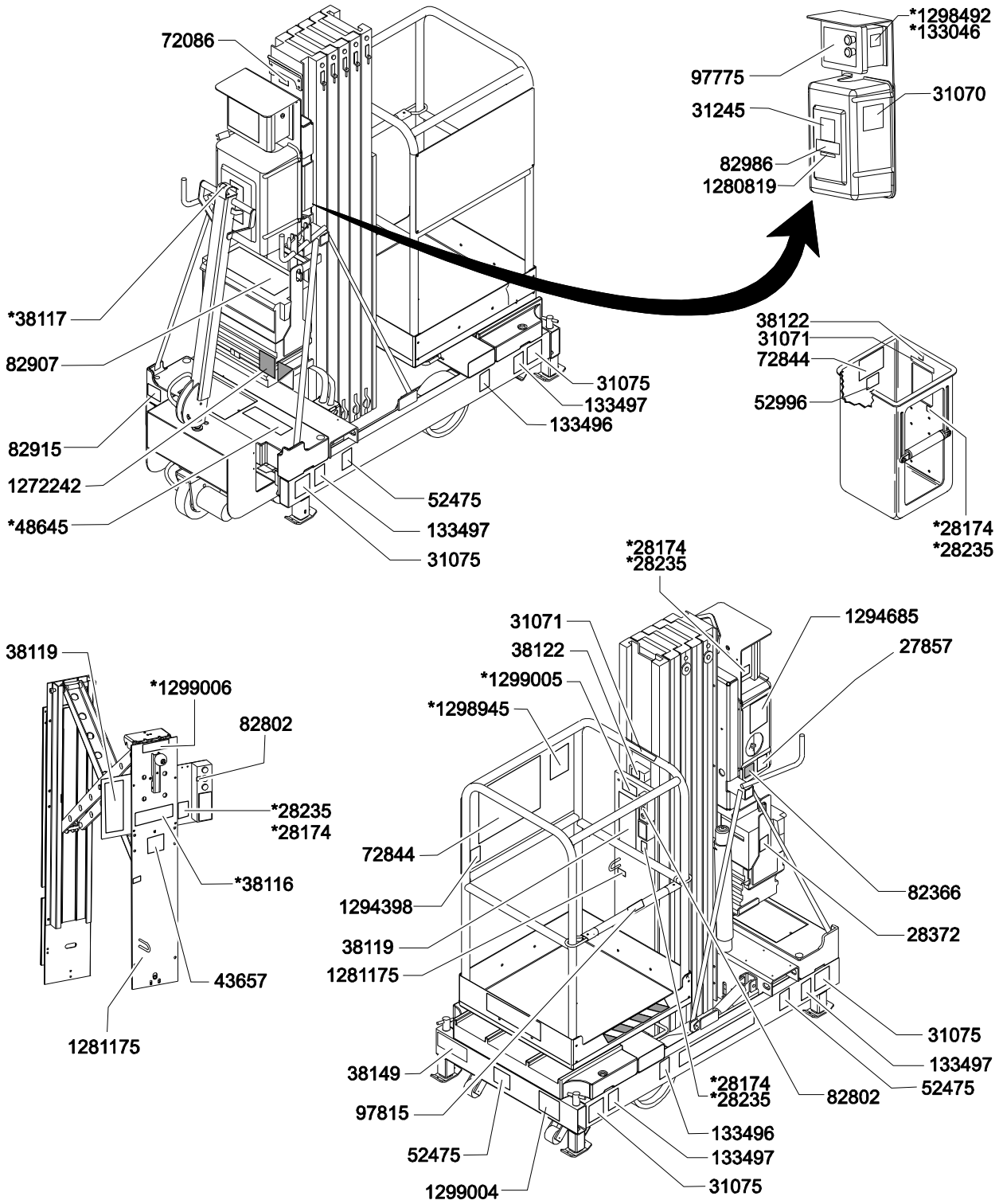
警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
27857	要注意 ー パイププラグ	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V*	2
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V*	2
28372	ラベル ー バッテリーパックのプラグを外す	1
31070	危険 ー 転倒の危険、移動	1
31071	警告 ー 必読	1
31075	警告 ー 手のケガの危険	4
31245	警告 ー 衝突の危険	1
38116	危険 ー アウトリーチオプションの安全と指示*	1
38117	注 ー パワーホイール支援オプションの作業手順*	1
38119	注 ー 操作指示	1
38122	ラベル ー マニュアル保管場所	1
38149	ラベル ー 特許品	1
43657	危険 ー 転倒の危険、アウトリーチオプション	1
48645	危険 ー パワーホイール支援オプションの安全性*	1
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	3
72086	ラベル ー 吊り上げ点	1
72844	危険 ー 一般安全	1
82366	ラベル ー Chevron Rando*	1
82802	ラベル ー 機能作動	1
82907	危険 ー バッテリー充電器の安全	1
82915	ラベル ー 手動下降弁	1
82986	危険 ー 感電の危険	1
97775	ラベル – インターロック表示	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
133046	ラベル ー 入力電源、220V*	1
133496	ラベル ー ホイール荷重	2
133497	ラベル ー フットパッド負荷	4
1272242	ラベル ー 機械の登録/所有権の譲渡	1
1280819	ラベル ー 警告、がんと生殖害、Prop 65	1
1281175	ラベル ー 安全帯固定箇所、落下阻止	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1294685	指示 ー 1 年毎の点検	1
1298492	ラベル ー 入力電源、100VAC*	1
1298945	ステッカー ー 警告、作業台配置ランプ、用語*	1
1299004	ラベル ー 輸送図	1
1299005	注 ー 最大許容量/側方圧力、350 lbs、IWP*	1
1299006	注 ー 最大許容量/側方圧力、300 lbs、IWP*	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) *。
これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


72086
*38117
82907
82915
1272242
*48645
52475
133497
31075
31075
133497
133496
*1298492
*133046
97775
31070
31245
82986
1280819
38122
31071
72844
52996
*28174
*28235
38119
*1299006
82802
*28235
*28174
*38116
43657
1281175
*28174
*28235
31071
38122
*1299005
*1298945
1294685
27857
72844
1294398
38119
1281175
82366
28372
31075
133497
52475
38149
97815
52475
1299004
82802
133496
133497
31075

点検

シンボル付きステッカーの点検

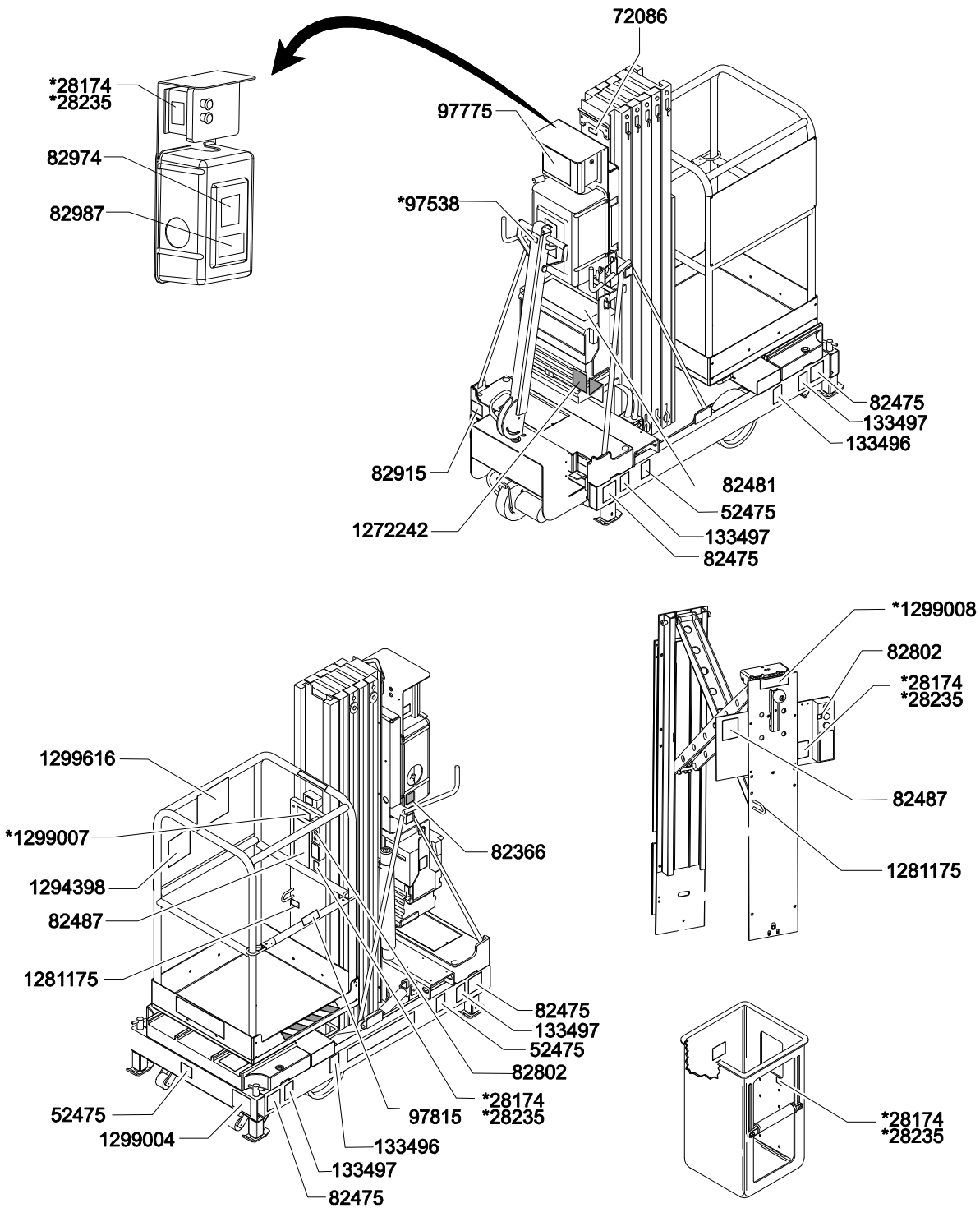
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V*	2
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V*	2
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	3
72086	ラベル ー 吊り上げ点	1
82366	ラベル ー Chevron Rando*	1
82475	ラベル ー 挟まる危険、アウトリガー	4
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ー マニュアルを読む	1
82802	ラベル ー 機能作動	1
82915	ラベル ー 手動下降弁	1
82974	警告 ー 衝突の危険	1
82987	危険 ー 感電の危険	1
97538	ラベル ー 機能作動、パワーホイール支援	1
97775	ラベル ー インターロック表示	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
133496	ラベル ー ホイール荷重	2
133497	ラベル ー フットパッド負荷	4
1272242	ラベル ー 機械の登録	1
1281175	ラベル ー 安全帯固定箇所、落下阻止	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1299004	ラベル ー 輸送図	1
1299007	注 ー 最大許容量/側方圧力、159 kg/200N、IWP*	1
1299008	注 ー 最大許容量/側方圧力、136 kg/200N、IWP*	1
1299616	ステッカー ー 警告、作業台配置ランプ、シンボル*	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


72086
*28174
*28235
97775
82974
82987
*97538
82475
133497
133496
82915
82481
52475
1272242
133497
82475
*1299008
82802
*28174
*28235
82487
1281175
1299616
*1299007
82366
1294398
82487
1281175
82475
133497
52475
82802
*28174
*28235
52475
97815
1299004
133496
133497
82475
*28174
*28235

操作手順

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

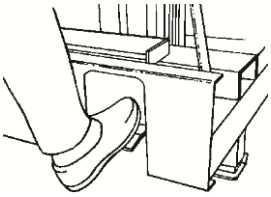
操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

2 名以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

設置

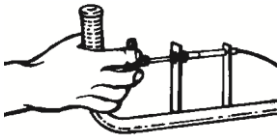
1 フットペダルを踏んで、ホイールが地面に接触するまでベースを上昇させます。



2 操舵ハンドルを使用して、機械を押します。

3 作業場の真下のしっかりとした平坦な地面に機械を置きます。

4 ベース下降ハンドルを引いて、4 つのすべてのフットパッドが地面にしっかりと接触するまでベースを下げます。



5 適切な電源に接続します。

DC モデル: バッテリーパックを接続します。

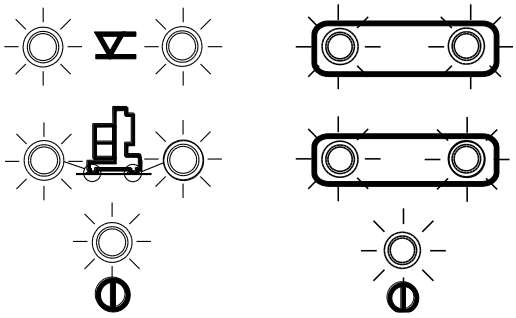
AC モデル: 接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。50 フィート/13 m 以下の 12 ゲージ/3.3 mm^2 アース付 3 ピン延長コードを使用してください。

6 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。

7 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いて、電源ランプが点灯していることを確認します。

操作手順

8 2 つのレベルセンサーインターロック表示ランプと 2 つのフットパッドインターロック表示ランプが点灯していることを確認します。



注記:2 つの異なるインターロック表示ステッカーが製造されました。それぞれの標識記号は違いますが、両方とも同様に作動します。この説明書では、これらの両方をイラスト表示します。

非常停止

1 作業台操作あるいは地上操作で赤色非常停止ボタンを押し、上昇機能を停止します。

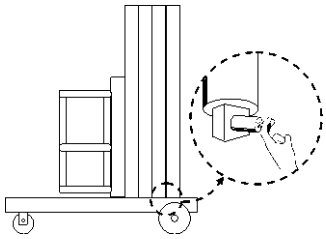
作業台の上昇と下降

1 作業台の赤色非常停止ボタンを引いて オン の位置にします。

2 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

手動下降

1 油圧シリンダーの底にある手動下降弁を作動させます。



補助作業台下降

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作で作業台補助下降ボタンを作動します。

アウトリーチオプションの操作手順

1 ブラケットロック上に持ち上げます。

2 ハンドルを時計回りに回して、作業台を延長します。ハンドルを反時計回りに回して、作業台を収縮します。

3 ハンドルがロックされていることを確認します。

CE モデル:アウトリーチが延長されている場合、上昇下降機能は動作しません。アウトリーチを収縮して、作業台を元に戻します。

操作手順

パワーホイール支援オプションの作業手順

1 操舵ハンドルを下げます。

2 機能作動レバーをどちらかの側に引いたままの状態にします。

3 ロッカースイッチを任意の走行方向に動作させます。

4 ロッカースイッチを離します。ロッカースイッチを離しても、機械は移動を続けます。

5 機能動作レバーを離して機械を停止し、ブレーキをセットします。

注記:ブレーキは、3° 未満の傾斜面上で機械を固定します。

パワーホイールの支援なしで機械を移動するには機能作動レバーを引いてブレーキを解除します。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 ベース下降ハンドルを引いて、4 つのすべてのフットパッドが地面にしっかりと接触するまでベースを下げます。

3 関係者以外による使用を避けるためキーを取り外してください。

4 DC モデル: バッテリーを充電します。

メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

保守記号の説明

注意 以下の記号は、指示の目的を分かりやすくするために使用されています。保守手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うためには、工具が必要です。

この手順を行うためには、新しい部品が必要です。

バッテリーのチェック - DC モデル

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意 このテストはバッテリーを完全に充電した後に行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリー通気孔のキャップを外します。

3 バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

4 バッテリー通気孔のキャップを取り付けます。

メンテナンス

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 作業台が完全に下がっていることを確認します。

2 作動油タンク側面の表示計を確認します。

⊙ 結果:作動油量が、表示計の中央を示している必要があります。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

バッテリー充電の手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

主要バッテリーの充電

1 バッテリーにアクセスするためバッテリーパックの蓋を開けます。

2 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー液の量を確認します。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

3 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

4 DC 出力コードがバッテリーに正しく接続されていること確認します。黒をマイナス、赤をプラスに接続します。

5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

6 バッテリーが完全に充電されると、充電池のスイッチが自動的に切れます。

7 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

補助バッテリーの充電（搭載されている場合）

1 主要バッテリーボックスの後方にある Anderson コネクターの電源プラグを抜いて、主要電源を機械から切断します。

2 主要バッテリーがすでに切断されている場合は、補助バッテリーが機械に接続されていないかを確認してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー液の量を確認します。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

4 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

5 補助バッテリーの Anderson コネクターを主要バッテリーボックスの後方にある Anderson コネクターに接続します。

6 主要バッテリーボックスの上部にあるバッテリー充電器を接地されている AC 回路に接続します。

7 バッテリーが完全に充電されると、充電池のスイッチが自動的に切れます。両方のバッテリーが放電している場合は、両方のバッテリーの充電完了には 24 時間かかる場合があります。

8 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

バッテリー充電の手順

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送および持ち上げの手順

輸送手順

必ず以下に従うこと。

☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは、常識的な判断と手順をもって機械の動きをコントロールしてください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 輸送車両の最大積載荷重量、積載機材、積載面が機械の重量を支えることができるか確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ 機械のベースは、積載と輸送のすべての手順を行う間は下げたままにする必要があります。

☑ 機械は、輸送車両にしっかりと固定されていなければなりません。チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

平台トラック上への機械のウィンチ

1 作業台を完全に下げます。

2 赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。

3 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

4 ベースの前方にあるウィンチ個所にケーブルを取り付けます。

5 慎重に機械をトラック上にウィンチします。

6 機械の本体とマストを輸送車両にしっかりと固定します。チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

フォークリフトによる機械の積載

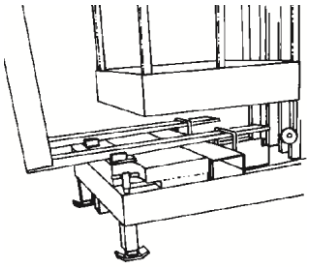
機械の側面にあるフォークリフト ポケットを使用するか、作業台の下のカウンターウェイトの後ろにあるフォークリフトリングを使用します。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

フォークリフトリングを使用する場合

1 作業台を 3 インチ/7.5 cm 上げます。

2 フォークリフトリンクを上の位置に上げます。



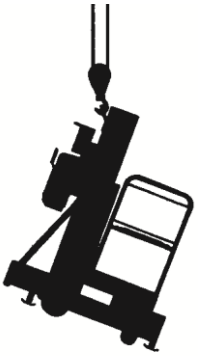
輸送および持ち上げの手順

クレーンによる機械の 積載

マスト柱の後ろに取り付けられたリフト用金具を使用します。

機械をクレーンで持ち上げる前に、バッテリーパックを取り外してください。バッテリーパックを取り外す前に、バッテリープラグを外してください。

機械全体を点検し、緩んでいたり固定されていないものを取り除きます。



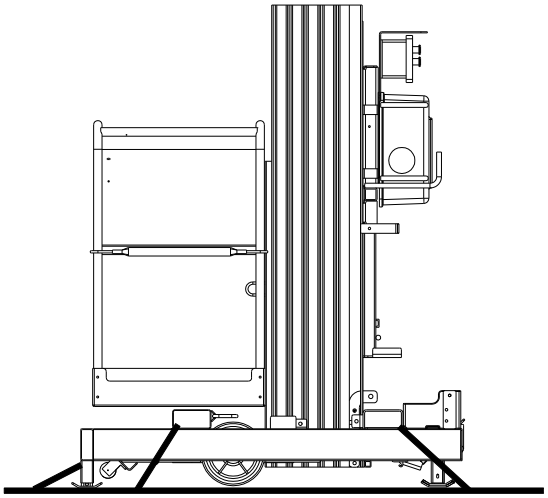
リフト用フックは、必ず機械と逆に向くようにリフト用金具に通してください。

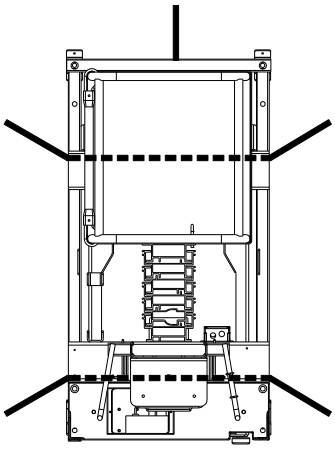
機械の固定

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 3 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。





仕様

仕様	
高さ、操作時最大	
IWP-20S	26 ft 3 in/8.0 m
IWP-25S	30 ft 11 in/9.4 m
IWP-30S	35 ft 6 in/10.8 m
高さ、作業台最大	
IWP-20S	20 ft 3 in/6.1 m
IWP-25S	24 ft 11 in/7.6 m
IWP-30S	29 ft 6 in/9.0 m
高さ、収納時、ベースを完全に下降した状態	76 in/1.9 m
高さ、収納時作業台を上昇した状態	78 in/2.0 m
幅	
IWP-20S、IWP-25S	32 in/81.3 cm
IWP-30S	40 in/101.6 cm
奥行き、すべてのモデル	60 in/152.4 cm
重量、すべてのモデル	シリアルプレートをご覧ください。
リフト積載荷重量、標準	350 lbs/159 kg
リフト積載荷重量アウトリーチオプション搭載	300 lbs/136 kg
オプションのアウトリーチ、延長	24 in/61 cm
角までの接触距離	6 in/15 cm
角までの接触距離	7 in/18 cm
電源	
DC モデル	12V
AC モデル	110V または 220V
周囲操作温度	-20°F ～ 135°F -29°C ～ 57°C

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	<70 dBA
作業台での音圧レベル	<70 dBA
ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒 ^{2} を超過しません。	
本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒 ^{2} を超過しません。	

作業台寸法（奥行き x 幅）	
ゲート式またはスライド式中間レール式の標準作業台	27 x 26 x 44.75 in 69 cm x 66 cm x 1.1 m
ゲート式超狭幅作業台	22 x 18 x 44.75 in 56 cm x 46 cm x 1.1 m
ゲート式狭幅作業台	26 x 20 x 44.75 in 66 cm x 51 cm x 1.1 m
標準ファイバーグラス製作業台	29 x 26.5 x 43.5 in 74 cm x 67 cm x 1.1 m
狭幅ファイバーグラス製作業台	26 x 22 x 43.5 in 66 cm x 56 cm x 1.1 m

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店：

www.genielift.com